

平成26年4月1日

平成26年度の高知追手前高等学校経営方針について（本校）

高知追手前高等学校

校長 池 康晴

高知県教育振興基本計画に謳われる教育理念「郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもたちの育成」、「学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力をもった人間の育成」に沿って、「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成を目指す。

1 学校の校風（精神）

質実剛健と文武両道の精神

2 学校の教育重点目標

- (1) 人間尊重の精神の育成
- (2) 学力・体力の向上
- (3) 秩序ある生活の確立
- (4) 環境の美化（環境保護の精神を養成）
- (5) 国際人としての素養の涵養

3 S I（スクール・アイデンティティ）

○ 将来を見据え、次代をリードする人材の育成

- (1) 科学技術の発展を支える人材の育成
- (2) 国際力のある人材の育成
- (3) 地域を支える人材の育成
- (4) 社会性の涵養

4 学校経営の基本的な考え方

(1) すべて校風「質実剛健、文武両道」に帰結

(2) 学力・体力の向上と進路実現

① 授業第一主義（あたり前のことをあたり前にする、そして一流にする）

- ・ 授業の質を上げ、基礎学力の定着、学力・体力の向上を図る
- ・ 家庭学習時間を確保し予習、授業、復習のサイクルを確立する
- ・ 教職員は、校内研修・公開授業の充実、校外研修への積極的な参加、先進校視察などを通して、常に授業の工夫改善に努め、授業力向上を目指す

② 学習状況の的確な評価の累積と分析

- ・ スタディサポートや校内実力テスト、校外模試の結果を積み重ね、一人ひとりの生徒の学力状況を把握し、的確な進路指導に努める
- ・ 学力検討会において、各教科、科目の課題を明らかにしてその対策を講じる

③ 「志」を育む教育を充実させる

- ・ レオプロジェクト（総合的な学習の時間やLHなどの全体計画：キャリア教育）を充実させ、人の役に立ち、周りの人を幸福にしようとする「志」を育む
- ・ 「志」の実現に向けて、主体的に学び、行動しようとする態度を育む

④ 学校図書館を活用する

- ・ 読書活動の啓発、推進に努める
- ・ 読書活動はもとより、授業やレオタイムなどにおいて、情報収集や調査、研究の目的で学校図書館を活用する（生徒の進路選択や課題研究など）

⑤ 聴講生制度（申請中）の設計と実現

- ・ 家庭の経済的な事情から、予備校等で浪人することが困難な国公立大学進学希望者の進路実現を支援する体制を作る

(3) 人間尊重の精神の育成と秩序ある生活の確立

① 生徒の命と尊厳を守る

- ・ 教職員は、厳しさの中にも人間味あふれる温かい指導を展開する

② 道徳教育、人権教育を充実させる

③ 学校行事や部活動を充実させ、協調性や責任感、連帯感を育成する

④ 保護者とも協力しながら、基本的な生活習慣を確立させる

⑤ 服装、挨拶、清掃などの指導を通して規範意識を育てる

⑥ 高知追手前高等学校いじめ防止基本方針を策定し基本認識を共有する

- ・ 生徒が安心して学校生活を送り、自他ともに大切にできるよう、いじめを抑止し人権を守る土壌を育む
- ・ いじめ防止だけでなく生徒指導上の諸課題を解決するための基本認識を共有する

⑦ 生徒へのサポート体制を確立する

- ・ 学校生活の中で支援が必要な生徒への体制づくりや教職員の情報共有に努める

(4) 保護者や地域から信頼され、支持される学校づくり

① 保護者や地域、中学校への情報発信

- ・ 学校説明会や学校案内、学校便り、ホームページの充実など学校からの情報発信によって保護者や地域、中学校の本校への理解を促進する

② P T A 活動の充実

- ・ P T A 総会、学年 P T A、研修会、育成員制の諸活動、広報活動など P T A 活動を充実する

③ チーム追手前

- ・ 管理職と教職員そして教職員相互が信頼関係を構築し、緊密な連携のもとに教育目標の達成に向けて、教職員それぞれが役割を分担し円滑な学校運営に努める
- ・ 学校の教育目標を達成するため、生徒や保護者、教職員の目指す方向が同じになるよう最善の努力をする。生徒、保護者、教職員が連帯感や帰属意識を持てるような学校とする
- ・ 校友会（卒業者の会）への情報発信に努め、本校教育への理解を深める